



まなび  
P

## ホームソーイングコンクール入賞!!

「2022年度第43回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール」小学生の部において、6年IMさんが努力賞に輝きました。全国からの応募の中で4番目の賞です。  
このコンクールでは、ミシンを使用した作品づくりを通して、「ものづくりの喜び」と「ソーイングの楽しさ」を体験することでホームソーイングを広く普及させることを目的としています。一人一人の手作り作品。まさにオンリーワンのものづくりです。  
IMさんの作品は、成長により着られなくなった服を使って作ったリメイク作品です。



IMさんの作品

このコンクールを知り、やってみたい!という気持ちになりました。おうちの人に相談すると、「着られなくなった服があるよ。」と言って、デニム素材の上着を出してくれました。作り方のアイデアについては、ネットで調べたりしました。工夫したところは、布端にほつれを作ったところです。生地を切るときに手が疲れたり、ミシンで縫うときに縫い目が曲がってしまったり大変でしたが、思い通りにできたのでよかったです。この作品づくりを通して、ものづくりが好きという気持ちが一層強くなりました。また作品づくりをしてみたいです。



小学校では、5年生から家庭科の授業でミシンの使い方を学習します。家庭でもミシンを使う機会はあるでしょうか。市販のものを買うのもよいのですが、ソーイングはメイク&リメイクする意識を具現化させる絶好の機会です。モノに込められた作り手の思いを感じることもできます。このようなSDGsやMOTTAINAIモッタイナイに対する取組ともいえる機会が増えるといいですね。IMさん、おめでとうございます。

まなび  
P

## Who is your hero?



Who is your hero? これは5年生の外国語の単元名です。目標は3つ。

- 1 憧れの人を紹介するために、日常生活やその人が得意なことなどについて、短い話を聞いてその概要が分かったり、伝え合ったり、話したりすることができる。
- 2 外国語の背景にある文化に対する理解を深める。
- 3 アルファベットの活字体の大文字・小文字を書くことができる。

いかがでしょうか。「難しそう」「昔は中学でやってたレベルだなあ」と、様々な感想をもたれると思います。小学校英語といえども、大切なのは自己表現です。指導者から提示された英語を覚える英語から、提示された英語をもとに自分が伝えたいことを英語で表現する英語に変わってきています。本当に言いたいことや伝えたいことは、人それぞれ異なるもの。だからこそ、言いたいことが言えるようになる授業が求められています。

本単元では、最後には自分のヒーローをみんなの前で紹介します。本校5年生Aさんは、次のような内容で紹介をしていました。



Who is your hero?

My hero is Miyano Mamoru.  
He is a voice actor.  
声優



Why is he your hero?

He is good at dancing and making people laugh.  
人を笑わせる  
He is always funny and unpredictable.  
予測不可能な



下線の英語表現は、教科書では扱われていません。自分が伝えたい表現は教科書にはなかったので、自分で調べたそうです。主体的な学びといえます。人とコミュニケーションをすることの楽しさやうれしさ、面白さが感じられる南小の英語にしていきたいです。